

#947 4回の設計変更もデータ切り替えで対応！ Smart Construction Dashboard



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 新潟県村上市 道路改良工事

【施工範囲】 150m 【施工土量】 35,000m³

【ソリューション】 ドローン測量/Smart Construction 3D Machine Guidance/パイロードメーター/ Smart Construction Dashboard

【稼働建機】 PC200マシンガイダンス装着機 2台

(掲載月：2024年6月)

マシンガイダンス装着機2台をフル活用



制約のある現場でも利点を感じた



■ ■ 導入経緯 ■ ■

(株)松山組 工事部課長 込谷一男さん

当社は2021年度より毎年ICT活用工事を行っており、今回の現場は会社として3回目、私個人の担当では2回目です。前回は盛土工事でしたのでICTでの掘削工は今回が初めてとなります。

前回の盛土工事では、PC200のマシンガイダンス装着機を導入し、3次元測量、3次元設計データの作成、日々の管理、電子納品などすべてスマートコンストラクション®で、生産性の高い施工が実現しました。今回はPC200マシンガイダンス装着機を2台導入し、1台はマシンガイダンスでの掘削作業、もう1台はパイロードメーターを活用した積み込み作業に活用しようと考えました。3次元測量からデータ作成、その他設定などスマートコンストラクション®であれば安心なので今回もお願いする運びとなりました。

■ ■ 導入効果 ■ ■

(株)松山組 工事部課長 込谷一男さん

掘削施工に伴い、土をダンプトラックに積んで別の場所に搬出しますが、土の受け入れ先が複数あり、受け入れ先の状況やキャパシティを考慮しながら搬出をしなければならないため、最終出来形を決定できない状況で施工を開始しました。

このような条件でもICT施工を行うために、最少土量を20,000m³、最大土量35,000m³と設定し、一定の掘削が進むたびに発注者を交えて協議を重ねることで、施工を進めることができました。

最終的に最大の35,000m³まで掘削しましたが、途中計4回の3次元設計データ変更が発生しました。Smart Construction Dashboardであらかじめ作成していたデータを切り替えるのみで、まったく手間が掛からずに設計変更ができました。おかげで施工日数も計画より短縮しましたし、従来工法なら相当な時間を要したの言うまでもありません。

この様に建機性能以外の部分でもICT化による利点を強く感じました。

(株)松山組 様

弊社は、大正10年(1921年)創業以来、「豊かな生活を支えるために」の社是のもと、地域社会に貢献する企業であることを目指しています。

積み重ねてきた歴史をもとに、総合建設業として地域社会はもとより広域的な社会資本づくりに携わり、社会の変化を柔軟に捉えながら、情熱と信念をもってより社会に貢献してまいります。



工事部課長 込谷一男 さん